

2023年3月期 決算補足説明資料



AGENDA

I. 2023年3月期 決算概要

II. 2024年3月期 業績見通し

2023年3月期 決算概要

為替影響により売上高は増収となったが、営業利益は自動車生産の回復遅れ及び下期からのHDD用サスペンションの売上計画未達があり減益

売上高 53,399百万円
(前年同期比+5,960百万円/ +12.6% / 内為替影響+5,617百万円)

営業利益 304百万円
(前年同期比▲345百万円 / ▲53.1%)

自動車分野

売上前年同期比+10.2%

- 材料関連
メキシコ子会社の鋼材価格高騰分の価格転嫁及び為替影響により前期比増収
- 自動車関連
中国ロックダウンや半導体不足による自動車減産の影響を受けるが、電動化関連製品等の増加により増収

電子情報通信分野

売上前年同期比+18.0%

- HDD用サスペンション
景気後退懸念によるデータセンター向け投資抑制の影響が発生したが、為替影響により前期比増加
- プリンター関連
リモートワークへの移行による家庭用特需増加のあった前期比で減少したが、下期から増加
- 通信関連
北米・アジア市場の需要回復や新規拡販により増収

◆ 前期比較

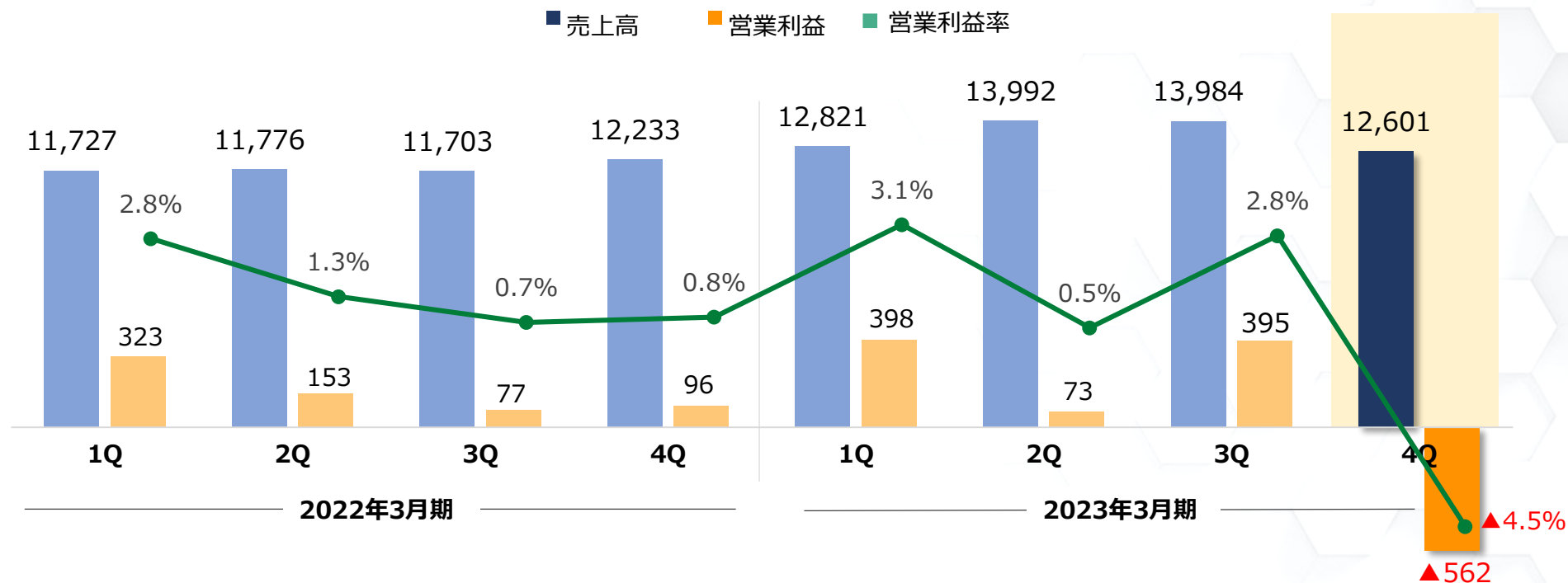
売上高	自動車分野では生産回復が停滞している中、鋼材価格高騰分の価格転嫁および円安の影響もあり増収。HDD用サスペンションは景気後退懸念による投資抑制の中、円安及び上期の高需要により前期比増収。
営業利益	鋼材値上げやエネルギー・輸送コストアップ、HDD用サスペンションでの新機種増産準備にかかる費用の増加及び訴訟対応に要する弁護士費用・その他の費用などの影響により53.1%減
経常利益	持分法投資による利益+117百万円、円安による為替差益+77百万円
当期純利益	メキシコ子会社補償費用▲1,838百万円、受取保険金+1,338百万円、投資有価証券売却益+224百万円

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期				
	実績	期初予想 (2022年5月開示)	2月10日 公表予想	実績	前年比	期初予想比	2月10日 公表予想比
売上高	47,438	57,000	53,000	53,399	+5,960	▲3,601	+399
営業利益	649	2,000	600	304	▲345	▲1,696	▲296
経常利益	1,022	2,100	1,300	848	▲173	▲1,252	▲452
当期純利益	904	1,500	1,000	557	▲347	▲943	▲443
一株当たり利益	29.34	49.96	33.29	18.57	◆ 対2月10日公表予想比 主要乖離要因		
平均為替レート	112.4円/ドル	120.0円/ドル	134.9円/ドル	135.5円/ドル	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーコスト上昇分の価格転嫁不足 HDD用サスペンションの訴訟対応に要する弁護士費用他 HDD用サスペンション新機種増産準備にかかる費用の増加 持分法投資損益減 4Q為替差損の発生 		
	130.6円/1-□	132.0円/1-□	138.9円/1-□	141.0円/1-□			

対3Q比較

◆ 売上高	自動車生産の回復遅れによる受注減および景気後退懸念によるHDD用サスペンションの減少
◆ 営業利益	自動車分野での鋼材価格高騰分の価格転嫁一括遡及による3Q改善 HDD用サスペンションの売上減少による利益減及び訴訟対応にかかる弁護士費用・その他費用の増加

四半期別業績の推移



◆ 自動車分野	材料関連	為替影響及びメキシコ子会社の鋼材価格高騰分の価格転嫁により前年同期比増収
	自動車関連	中国ロックダウンや半導体不足等供給制約の継続による自動車生産の減産影響あったものの、バスバー等電動化関連やLED関連製品等大きく増加し、前年同期比増収
◆ 電子情報通信分野	HDD用サスペンション	上期はデータセンター向け投資の高い需要が継続していたものの、下期景気後退の懸念によりデータ向け投資抑制の影響が発生。全体として円安影響があり前年同期比増収
	プリンター関連	新型コロナウイルス感染症の影響によるリモートワークへの移行により家庭用の需要増加があった前年度からは減少していたが、下期から増加
	通信関連	主な市場である北米・アジアの需要回復や新規拡販により前年同期比増加

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期			
	実績	実績	(内為替影響)	前年同期比	
売上高	47,438	53,399	(+5,617)	+5,960	+12.6%
自動車分野	30,777	33,918	(+2,264)	+3,140	+10.2%
材料関連	6,447	7,430	(+934)	+983	+15.2%
自動車関連	24,330	26,487	(+1,329)	+2,157	+8.9%
電子情報通信分野	15,781	18,734	(+3,348)	+2,862	+18.0%
HDD用サスペンション	10,948	12,931	(+2,431)	+1,983	+18.1%
プリンター関連	3,694	4,239	(+682)	+544	+14.7%
通信関連	1,228	1,563	(+234)	+334	+27.3%
その他	789	746	(+3)	▲42	▲5.4%

2023年3月期 連結貸借対照表

◆ 固定資産増加	積極的な設備投資による有形固定資産増加+1,584百万円 主に資本業務提携による関係会社株式+1,922百万円 売却による投資有価証券▲761百万円
◆ 流動負債増加	買掛金▲128百万円、短期借入金+2,626百万円、未払金+1,227百万円
◆ 純資産増加	当期純利益+603百万円、配当金▲668百万円 その他有価証券評価差額金▲213百万円、為替換算調整勘定+1,261百万円

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期	
	実績		実績	前期末比増減
流動資産	28,328		31,455	+3,127
現預金	7,510		7,707	+197
売上債権	11,076		10,941	▲135
棚卸資産	8,463		10,813	+2,350
固定資産	29,602		32,286	+2,681
総資産	57,932		63,735	+5,803
負債合計	20,749		25,696	+4,946
流動負債	17,471		21,324	+3,853
有利子負債	6,031		8,663	+2,632
固定負債	3,278		4,372	+1,093
有利子負債	1,186		2,368	+1,181
純資産合計	37,182		38,038	+856
負債純資産合計	57,932		63,735	+5,803

2023年3月期 キャッシュ・フローの状況

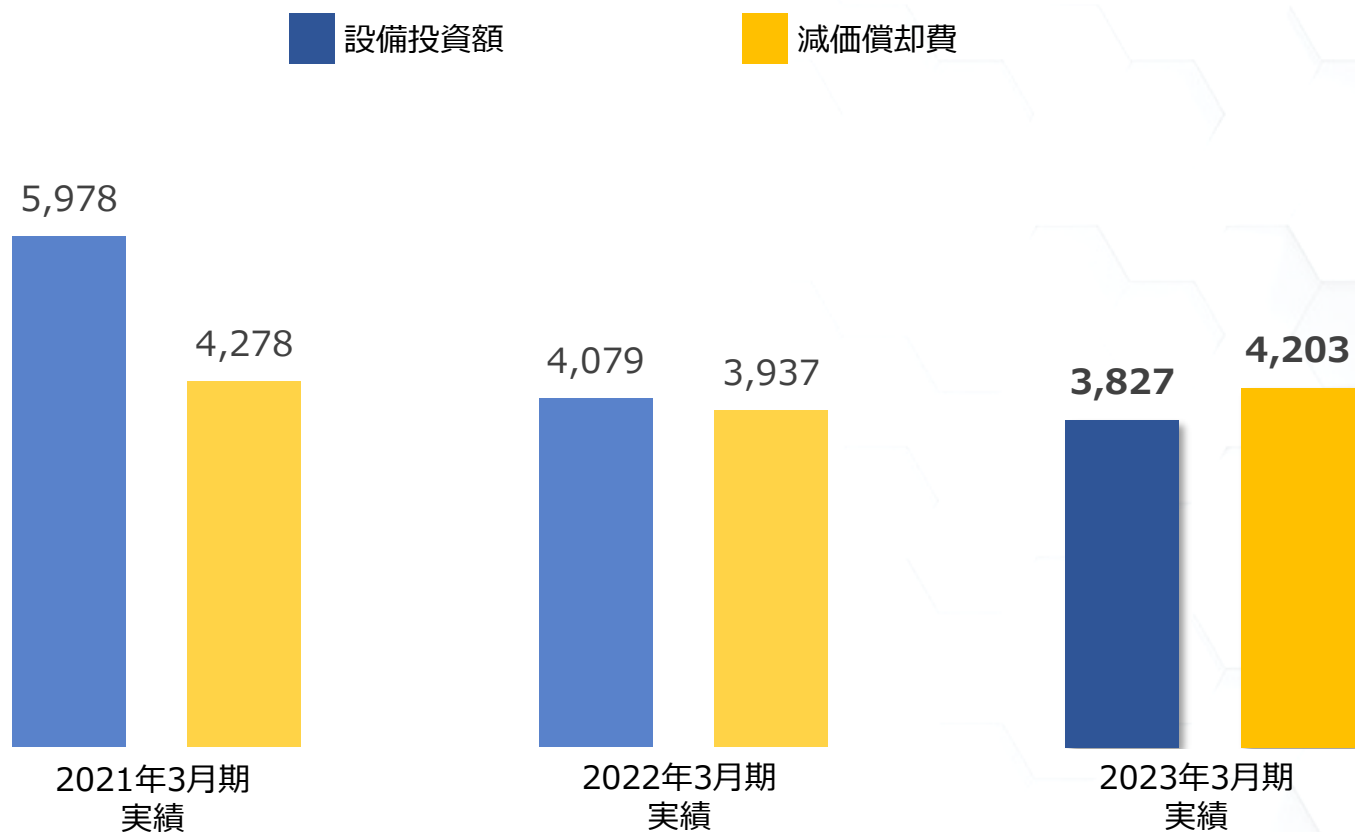
◆営業C/F	税引前当期純利益の減少、メキシコ子会社補償案件での支払VAT増加などにより前期比▲1,478百万円
◆投資C/F	HDD用サスペンションへの設備投資、及びアイメス社への資本参加により▲4,946百万円、前期比▲123百万円
◆財務C/F	設備投資及びアイメス社株式取得に伴う借入金の増加により+1,626百万円

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期	
	実績		実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,170		1,691	▲1,478
税引前当期純利益	1,431		934	▲496
減価償却費	3,937		4,203	+266
売上債権増減	▲832		394	+1,227
棚卸資産の増減額	▲1,708		▲1,799	▲91
仕入債務増減	954		▲363	▲1,317
投資有価証券売却益	▲401		▲625	▲223
その他の流動資産の増減額	▲141		▲582	▲441
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,822		▲4,946	▲123
固定資産取得による支出	▲5,237		▲4,007	+1,229
関係会社株式取得による支出	0		▲1,719	▲1,719
投資有価証券売却による収入	410		845	+434
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,154		2,780	+1,626
短期借入金増減	3,377		2,440	▲937
長期借入金増減	▲691		1,217	+1,908
自己株式の取得	▲704		0	+704

◆HDD用サスペンションを中心に継続した設備投資を実施したが、一部完成遅れが発生。

設備投資額・減価償却費

(百万円)



※上記設備投資額については完成ベース

2024年3月期 業績見通し

◆ 対前年同期比

通期売上高	HDD用サスペンションは景気後退懸念によるデータセンター向け投資抑制から年度半ばより回復する見込み。また、自動車分野では自動車生産の回復及び鋼材価格、エネルギー・輸送コストアップの価格転嫁などにより前期比増収
営業利益	自動車分野の改善およびEV関連製品の売上増加により増益
経常利益	営業外損益で持分法投資による利益+112百万円

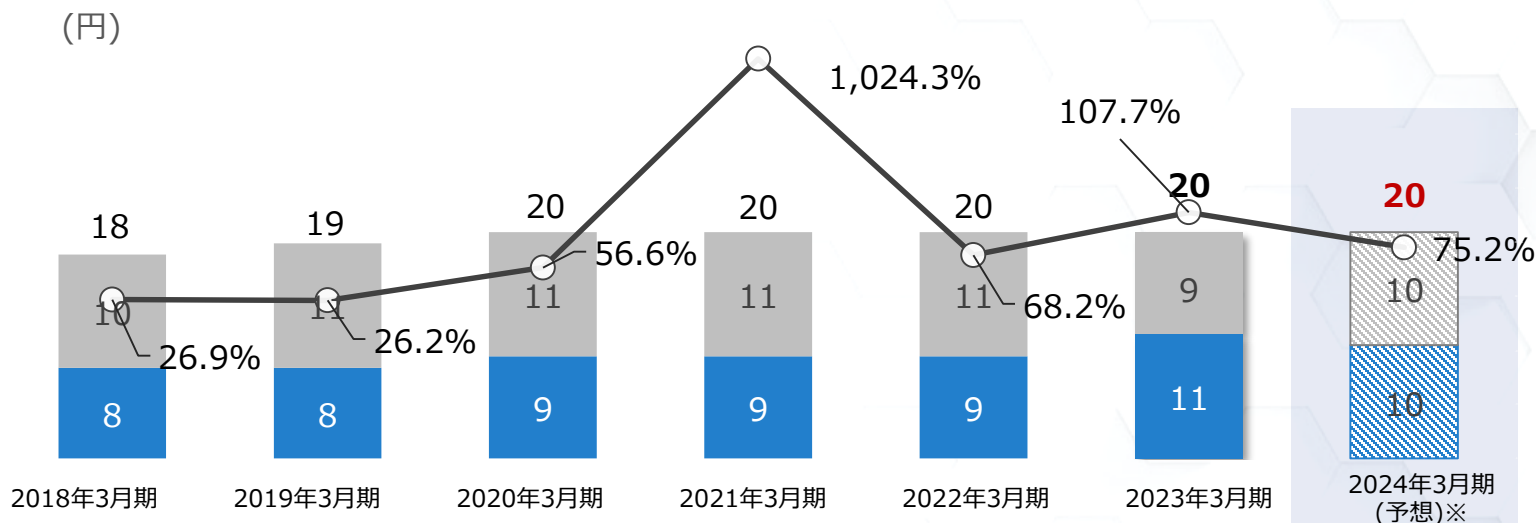
単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期				対23/3期 通期比	対中計比
	実績	中期経営計画	見通し					
			通期	上期	下期	通期		
売上高	53,399	59,300	27,000	31,500	58,500	+5,101	▲800	
営業利益	304	3,400	▲460	1,110	650	+346	▲2,750	
経常利益	848	—	▲340	1,290	950	+102	—	
当期純利益	557	—	▲240	1,040	800	+243	—	
一株当たり利益	18.57	—	▲7.98	34.59	26.61	◆ 対GGP24中計比 主要乖離要因		
平均為替レート	135.5円/ドル	110.0円/ドル	130.0円/ドル			・ 主に電子情報通信分野の売上物量減		
	141.0円/1-円	125.0円/1-円	140.0円/1-円					

◆ 対中計比較

EV等電動化関連事業	バスバーやLED部品等電動化関連製品の伸長が加速、需要好調により中計比増収見込み
電子情報通信関連事業	HDD用サスペンションが円安による為替影響+約27億円があるものの、データセンター向け投資抑制の影響により中計比▲68億円減少見込み
既存自動車関連事業	自動車電動化が進む中、為替影響+約30億円を除くと売上規模は中計通りに維持

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	対2023年3月期	対2024年3月期
	実績	GGP24中期計画	見通し	実績比	中計比
売上高	53,399	59,300	58,500	+5,101	▲800
EV等電動化関連事業	2,970	3,500	4,140	+1,170	+640
電子情報通信関連事業	19,291	25,700	21,020	+1,729	▲4,680
HDD用サスペンション	12,931	18,790	14,670	+1,739	▲4,120
プリンター関連	4,239	3,720	3,850	▲389	+130
通信関連	1,563	2,270	1,930	+367	▲340
その他	556	920	570	+14	▲350
既存自動車関連事業	31,137	30,100	33,340	+2,203	+3,240
材料関連	7,430	7,000	7,470	+40	+470
自動車関連	23,706	23,100	25,870	+2,164	+2,770

財務・資本戦略	資本収益性とBSマネジメントを推進すべく、 自己資本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施
配当方針	ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする （配当下限は20円を継続）



中間配当	8円	8円	9円	9円	9円	11円	10円
期末配当	10円	11円	11円	11円	11円	9円	10円
年間配当合計	18円	19円	20円	20円	20円	20円	20円

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。



公式サイト・SNS等

[ホームページ](#)

[Twitter](#)

[YouTube](#)